

青森県北津軽郡“板柳町”とは??

1. 津軽平野の真ん中にある小さなまち 岩木山が綺麗にみえます!
2. りんごの歴史140年のまち 樹齢130年ほどの日本最古のりんごの樹があります
3. 全国初の「りんごまるかじり条例制定」のまち 消費者の皆様に安全・安心をお届け!
4. 人口1万4千人 りんごの生産量約3.2万t/年(H26)
5. りんごを全国へ出荷、世界への輸出にも力を入れています



▲2016年 オープンスクール様子



▲剪定作業の様子

◆開催場所：板柳町ふるさとセンター

青森県北津軽郡板柳町大字福野田字本泉34-6
TEL:0172-72-1500



板柳町



- 新青森駅より車で60分(約30km)
- 青森空港まで車で40分(約24km)
- 弘前駅より車で40分
- JR五能線
(新青森駅-板柳駅間約1時間 板柳駅より車で5分)

◆問合せ先：一般社団法人 日本エコ・アグリテクノロジー 株式会社 アグリ ガーデンスクール&アカデミー

東京都千代田区平河町1-3-8 平河町プラザ501
TEL:03-5213-4767
mail: agsa_toiwase@agrigen.co.jp (担当: 堂脇・幸坂・佐藤)



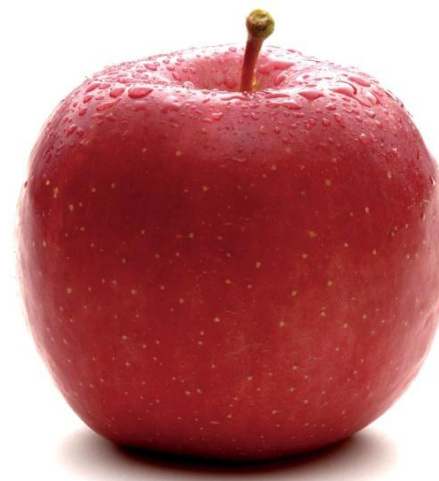
アグリガーデンスクール&アカデミー

あおもりのいたやなぎ
青森・板柳校

参加費(無料)

平成28年度 第三回 オープンスクール テーマ：農業ビジネスとりんごの剪定

2017年 2月21日(火) - 22日(水)



津軽平野の真ん中にある小さな町「いたやなぎまち」
この小さな町から「りんご」の素晴らしさを世界へ発信したい
今回はりんご栽培で最も大切な剪定について、そして様々な
角度から捉えた農業のビジネスについて学びます

アグリガーデンスクール&アカデミー 青森・板柳校

平成29年度 第三回オープンスクール 日程表

2月21日(火)

13:30~	受付開始 ※ふるさとセンター2階 会議室	
14:00~14:50	講演:「百貨店におけるこれからの付加価値販売戦略について」	宮島 徹
15:05~15:55	講演:「りんごの海外市場の動向」	今 智之
16:10~17:10	講演:「白神山地の微生物を利用する」	殿内 暁夫
18:00~20:00	意見交換会 懇親会 ※ふるさとセンター内「レストラン りんごワーク」	

2月22日(水)

9:00~10:00	剪定作業Q&A (事前学習システム)	
10:15~11:15	ワークショップ	堂脇 広一
11:30~12:30	剪定作業	

※オープンスクール参加費は無料です。

※県外企業参加者は、ふるさとセンター内コテージ宿泊費(相部屋)はこちらで負担いたします。

※会場までの交通費は各自ご負担願います。



◇講師紹介

株式会社 藤崎 経営企画部 専任部長
宮島 徹 (TORU MIYAJIMA)



1982年3月、東北学院大学 経済学部卒業。同年4月「株式会社藤崎」へ入社。入社後、労働組合書記長、食品部生鮮食品担当課長、営業企画部課長、人事部長、人事部兼総務部長を経て、執行役員 店舗計画部長、食品部長を歴任。その間、県農林水産部・市町村の商工観光課・農業生産者らと連携し、オリジナル商品の開発や、町おこしイベント・物販催事の企画・運営を行い、県知事より「宮城県認定食品3Eマークの商品認定委員」、「宮城県農業生産法人認定委員」の委嘱を受ける。2015年12月には地下鉄東西線開業に合わせた食品フロアの改装の計画から実行に至るまで実務責任者として携わった。現在は経営企画部専任部長として百貨店としてのこれからの付加価値戦略の考案と実現化のためのマネジメントを行う。

一般財団法人 板柳町産業振興公社りんごワーク研究所 りんご指導監
今 智之 (TOMOYUKI KON)

1981年3月弘前大学 農学部卒業。青森県職員として採用後、1984年4月から現青森県産業技術センターりんご研究所で、主にりんごの品種改良を担当。2012年3月に品種開発部長で早期退職。自家りんご園でりんごの品種改良を継続しながら、非常勤で板柳町ふるさとセンターりんご指導監として勤務。世界のりんご品種の食べ歩きを趣味とし、栽培りんご発祥の地、カザフスタン、キルギスで野生りんごの探索も行う。2015年4月からJICAのプロジェクトに参画し、パキスタンのりんご、あんずの栽培技術指導を行う。



弘前大学 農学生命科学部 分子生命科学科 教授
殿内 暁夫 (AKIO TONOUCI)



1990年九州大学 農学部卒業後、1995年九州大学大学院農学研究科修士(農学)を取得。1996年工業技術院、生命工学工業技術研究所 COE特別研究員となる。1998年弘前大学 生命科学部助手を得て、2004年弘前大学 農学生命科学部准教授、2016年教授となり現在に至る。主に細菌の系統分類学、世界自然遺産白神山地に生息する細菌・真菌の生態に関する研究や酵母の生態及び利用に関する研究を手掛けている。白神山地には腐葉土や樹木皮などに様々な微生物があり、無限の可能性があり、これらを地域貢献に活かしたいと考えられている。

りんご剪定士 板柳町レディーススクール講師
佐藤 洋治 (YOJI SATO)

板柳町生まれ。岩木山のふもとで土作りや生態系のバランスを見ながら、皆さんに喜んでもらえる美味しいりんご作りを目指す。りんごは剪定が要ということで、剪定士の資格を取得し、板柳町のレディーススクールの方々へ毎年2・3月に17年ほど継続して指導している。自らの向上だけでなく、板柳町ははじめ多くの農業者に技術を伝授し、一般の方にも食と土の大切さを知って欲しいと今回のオープンスクールに賛同いただく。

